

四国生物多様性ネットワークの6年間

2010年春、名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議をきっかけに四国の生物多様性に関係する多くの団体がゆるやかなつながりを持つため結成。

そして2016年、我々は四国各県を一周し昨年12月愛媛県にて5回目の四国生物多様性会議を開催。

この6年間、我々は多くの「接点」を作る機会を増やすべきと考えました。

そのために何が必要か？我々は「つながる機会＝情報の共有の機会」を増やそうと努力しました。

最初の3年間はIUCN-Jの支援をいただき、3県での四国生物多様性会議を開催。

この3年間の大切な資産を活かし、各県のそれぞれの団体が行政や県内外の団体と協力し活動しています。

2014－2016の動き

2013年12月 第3回四国生物多様性会議 in 高松開催

2014年 2月 第1回にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合（にじゅうまるCOP1）参加

2015年 2月 第4回四国生物多様性会議in徳島開催

2015年12月 第5回四国生物多様性会議in西条開催

各県のおもな取り組み、生物多様性地域戦略について

香川

香川いきものにぎわい作戦 2009年策定

愛媛

生物多様性えひめ戦略 2011年策定

愛媛県立衛生環境研究所 生物多様性センター

生物多様性プログラム「いきものワンダーガイド～えひめ生物多様性ナビ～」

「えひめいきもの応援キッズ」 2015年開設

徳島

生物多様性とくしま戦略 2013年策定

とくしま生物多様性センター2016年開設

生物多様性リーダー認定制度2016年開設

高知

生物多様性こうち戦略 2014年策定

普及啓発のためのワークショップ開催 2015年度実施

生物多様性こうち戦略推進リーダー制度2016年開設

ネットワークにできることは何だろうか

四国での6年間の動きは我々のネットワーク単独で成しえた仕事ではありません。

でも見方を変えたら、これらの動きは我々のネットワークと「つながり」があります。

これらの動きにより「芽」がたくさん生まれました。

関連した大小さまざまな勉強会や観察会、シンポジウムが開催されました。
そして驚くことに事務局はそのすべてを正確に把握していないのです。

通常の事務局機能からするととんでもない失態です。

でも我々はそれでよいと考えたのです。

その芽ができる為の「刺激＝きっかけ」を作ることができたのであれば
それでよいのではないかと考えます。

目指すところ

広域の地域ネットワークの意味とはなんでしょうか。

それは中心に大きなハブ構造を持つ「極」のつながりを作るのではなく、不規則な編み目構造の「小さなハブ＝芽や根」の複雑なつながりを増やすことではないでしょうか。

そのほうがより柔軟で強靱なネットワークを作れると考えます。

そのために我々は今後もこの芽や根を作るために様々なきっかけを作ってゆきたいと考えます。